

「真珠のようにきらり

輝く鳥羽」をめざし

平成28年度の当初予算をお知らせします
総額207億6,922万円

平成28年度の当初予算が可決されましたのでお知らせします。

一般会計予算は112億5,500万円で、前年度に比べ11.3%増となっています。また、国民健康保険事業などの5つの特別会計予算は合計で73億9,880万円、水道事業会計予算は21億1,542万円で、これらの会計を合わせた予算総額は207億6,922万円となります。

一般会計予算の概要

第五次鳥羽市総合計画「真珠のようにきらり輝く鳥羽(まち)」の着実な推進のもと、地方版総合戦略「鳥羽市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた基本目標を重点施策とし、特に緊急性・必要性の高い事業の選択として、平成28年度を「移住・定住元年」と位置付け、人口減少の歯止めにつながる「移住・定住」施策に重点を置いて予算編成を行いました。

○まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた基本目標

基本目標	基本的方向
働く場の創出	魅力ある働く場の創出
	観光と連携した漁業振興
ひとの交流	移住・定住の促進
	観光魅力の向上
	インバウンド観光の推進
結婚・出産・子育て	教育環境の充実
	ワーキングママなど働く親の子育て支援
安心した暮らし	防災対策の充実
	時代に合ったまちづくり



平成28年度鳥羽市予算

(単位：千円・%)

会計名		平成28年度	平成27年度	前年度比較	
				増減額	伸率
一般会計		11,255,000	10,108,400	1,146,600	11.3
特別会計	国民健康保険事業	3,664,400	3,604,000	60,400	1.7
	介護保険事業	2,547,600	2,528,000	19,600	0.8
	定期航路事業	548,300	887,500	△339,200	△38.2
	特定環境保全公共下水道事業	142,300	144,000	△1,700	△1.2
	後期高齢者医療	496,200	501,800	△5,600	△1.1
	小計	7,398,800	7,665,300	△266,500	△3.5
企業会計	水道事業	2,115,420	2,629,520	△514,100	△19.6
合計		20,769,220	20,403,220	366,000	1.8

市民一人当たりで計算すると ...

負担するお金	
市税	139,126 円

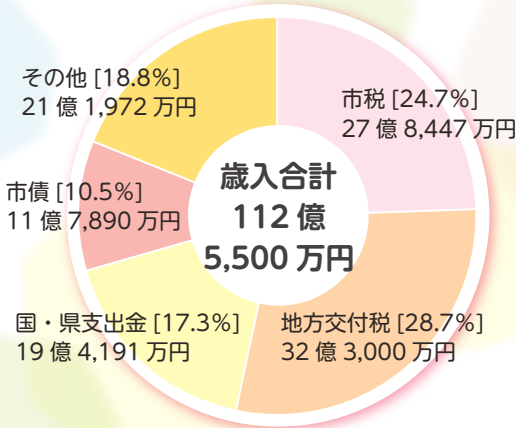
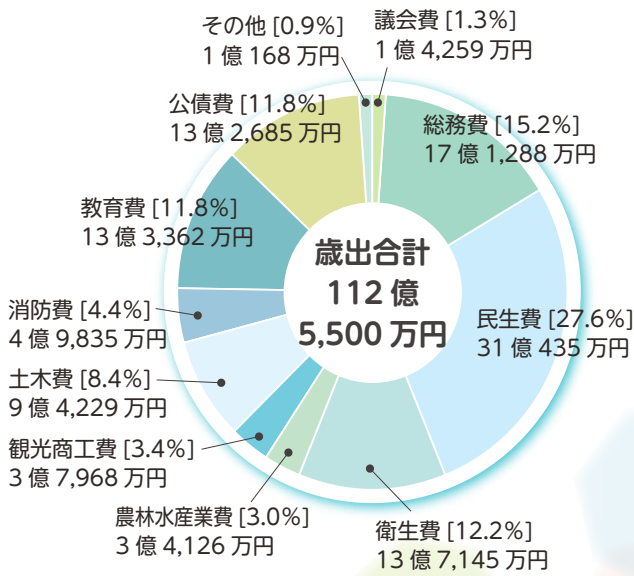
※市税約 28 億円を 2 月 29 日現在の人口 20,014 人で割ったものです。

使われるお金		
議会費	議会の運営など	7,125 円
総務費	市全般の管理事務など	85,584 円
民生費	高齢者福祉、児童福祉など	155,109 円
衛生費	保健衛生やごみ、し尿の処理など	68,524 円
農林水産業費	農林水産業の振興など	17,051 円
観光商工費	観光、商工業の振興など	18,971 円
土木費	道路、河川、都市計画など	47,082 円
消防費	消防、救急、救助など	24,900 円
教育費	小・中学校や幼稚園の整備など	66,635 円
公債費	市の借入金の返済	66,296 円
その他	災害復旧費用ほか	5,080 円
合 計		562,357 円

※目的別の予算を、2 月 29 日現在の人口 20,014 人で割ったものです。

一般会計予算 112 億 5,500 万円

前年比 11.3%(11 億 4,660 万円)増額



収 入		入	
一般会計予算		家 計 簿	
市税などの自主財源	44 億 2,458 万 8 千円	→	月収 (給料など) 147,486 円
国・県支出金などの依存財源	56 億 5,151 万 2 千円	→	親からなどの援助 188,384 円
市債などの借入金	11 億 7,890 万円	→	借入などで賄っている額 39,297 円
うち建設的な市債	7 億 7,890 万円	→	うち住宅借入 25,964 円
うち特例的な市債	4 億円	→	うち生活借入 13,333 円
収入計	112 億 5,500 万円	→	収入計 375,167 円

支 出		出	
一般会計予算		家 計 簿	
公債費	13 億 2,684 万 8 千円	→	借入の返済 44,228 円
人件費	25 億 1,461 万 1 千円	→	生活必需費 83,820 円
扶助費	12 億 2,356 万円	→	家族の医療費 40,785 円
物件費など	16 億 8,170 万 2 千円	→	光熱水費など 56,057 円
投資的経費・維持補修	16 億 9,642 万 8 千円	→	自宅の新築・増改築 56,548 円
補助費等・出資金・貸付金	13 億 2,952 万 7 千円	→	町内会費など 44,318 円
繰出金	10 億 8,100 万 9 千円	→	子どもなどへの仕送り 36,034 円
積立金	4 億 131 万 5 千円	→	貯金 13,377 円
支出計	112 億 5,500 万円	→	支出計 375,167 円

資 産 の 状 況			
基金	14 億 5,144 万 4 千円	→	預貯金残高 48,381 円
市債残高	128 億 6,682 万 5 千円	→	借入残高 428,894 円

平成 28 年度一般会計予算額をわかりやすくするため 3 万分の 1 に圧縮して家計の 1 か月分にしてみました。

平成 28 年度予算額を家計簿にすると...

平成28年度に

取り組む主な事業を紹介します

めざす
まちの姿

学びたい・働きたい・住み続けたいという 思いが育つまち

移住・定住の促進

ひとの交流

7,475万6千円



「とばぐらし」を促進する多様な取り組みを行うことで、切れ目ない、きめ細かな移住支援を推進します。各事業については、今号広報とば12ページで紹介しています。

子育て応援事業

結婚・出産・子育て

440万円

新たに子どもが生まれた世帯などに、子育て関連用品やチャイルドシートが購入できる「とばっ子育て応援券」を交付することで、子育て支援の充実を図ります。



神島小中学校建設事業

結婚・出産・子育て

5億2,501万4千円

小中学校を高台に新築移転することにより、児童・生徒の安全で安心な学校環境づくりを進めます。

母子保健事業

結婚・出産・子育て

1,971万2千円



妊婦健康診査にかかる費用を公費で負担するほか、その交通費相当額を助成します。また、不妊治療費や不育症治療費の一部助成を行います。

コンピュータ教育事業 250万5千円
高度情報通信システム利用教育事業 411万1千円

結婚・出産・子育て

映像や音声といった情報を使い、より分かりやすい授業を実施するためにICT機器を整備するなど、子どもたちの関心・意欲並びに理解力の向上を図ります。

地域のしごと魅力発信事業

働く場の創出

200万円

鳥羽高校での各種業種の説明会や中学生への「しごと見学会」を開催するなど、子どもたちに市内のしごとの魅力を伝えます。またインターンシップ受入プログラムの作成などを行います。

めざす
まちの姿

鳥羽ファンと市民が幸せをわかちあうまち

漁業と観光の連携事業

働く場の創出

773万6千円



主要産業である漁業と観光の連携により、それぞれの強みを活かした魅力づくりによる産業活性化を図ります。

インバウンド対策事業

ひとの交流

800万円



市内の観光施設や宿泊施設などの事業者に対して、Wi-Fi環境の整備や多言語パンフレット等の制作にかかる費用を支援するなど、外国人観光客の受入体制の強化を図ります。

6次産業化推進事業

働く場の創出

138万1千円

6次産業化の担い手となる個人や団体が経営ノウハウを習得できる場をつくることで、ビジネスとして自立していけるよう支援します。

漁港整備事業

1億6,327万円

菅島漁港に定期船待合所を整備するほか、各漁港施設の改良、整備を行い、機能の維持・向上を図ります。

旅行商品・プロモーション戦略事業

ひとの交流

1,808万2千円

海女文化や市キャンペーンガールの三世代海女などを活用した情報発信や、航空機内でのCM放映など、観光客が鳥羽に来たくなるような広告宣伝やプロモーションを行います。

伊勢志摩サミット推進事業 1,450万円

伊勢志摩サミット三重県民会議への負担金のほか、伊勢志摩サミット鳥羽おもてなし会議実行委員会が行う開催支援活動や観光振興・産業振興等の経済の好循環につながる取り組みを支援します。

中心市街地にぎわい創造事業

ひとの交流

410万円

空き家等を店舗や集客施設として開設する費用や中心市街地の活性化を目的とした自主的な活動を後押しすることで、中心市街地の賑わい創出を支援します。

海女文化継承啓発事業

443万1千円

海女が地域で活動していく上で、環境面を整えていくための費用の一部を支援するなど、海女漁業の振興や海女文化の保存継承に向けた取り組みを進めます。



めざす
まちの姿

自然と調和した営みが広がるまち

合併浄化槽普及啓発事業

安心した暮らし

3,136万5千円

鳥羽市生活排水対策推進計画のモデル地区である妙慶川流入区域の事業者が行う合併処理浄化槽への転換費用に対する支援を開始します。

森と海・きずな事業

働く場の創出

1,998万4千円



森林の持つ本来の機能を回復させ、下流において豊かな海の育みを図るため、生産林・環境林の整備を実施するとともに、資源の有効活用を図るため、間伐材の利活用を促進します。

地方道路整備事業

2億780万9千円

道路の改築や橋梁の長寿命化を推進し、道路利用者の安全の向上を図ります。また、鳥羽河内ダム事業に必要となる道路用地を確保します。

都市公園等整備事業

5,964万5千円



鳥羽中央公園野球場の改修や高丘公園および桜ヶ丘第一公園の遊具を更新し、都市公園施設の老朽化に対する安全対策の強化を図ります。また、鳥羽マリンパークの公衆トイレを改修し、利便性の向上を図ります。

建築物耐震化促進事業

2億7,319万5千円

地震による建築物の倒壊の被害から生命、身体、財産を守るため、個人木造住宅の耐震化や不特定多数の人が利用する大規模建築物の耐震改修にかかる費用を補助します。



生きがいや安心をみんなでつくるまち

防災対策事業

安心した暮らし

2,718万9千円



自治会・町内会が行う自主防災倉庫や津波避難路の整備を支援するなど、災害に強いまちづくりを進めます。

障害者医療費公費負担事業

7,184万3千円

障がいのあるかたが医療機関などを受診した際に支払った医療費の一部を助成することで、対象者の経済的負担を軽減し、保健の向上・福祉の増進を図ります。9月診療分より精神障がい者（2級）のかたまで対象者を拡大します。

いきいきお出かけ券事業

安心した暮らし

1,319万7千円



70歳以上のかたが、市営定期船やかもめバス、近鉄電車を利用したときの運賃助成を行うことで、いきいきと外出できるように支援します。

消防車両整備事業

3,931万2千円



市民のかたや観光客の生命を守るため、高規格救急自動車を更新し、救急体制の充実を図ります。

消防庁舎整備事業

2,664万4千円

消防庁舎を高台に新築移転することで、災害時活動拠点となる施設を確保し減災に努めます。

へき地診療所運営事業

3億2,028万8千円



へき地の医療を支える診療所を運営し、地域住民が安心して受診できる医療体制を整えます。今年度から長岡診療所において、指定管理者制度を導入し、継続的で安定した医療の確保を図ります。

無駄なく効果の高い行政経営が進むまち

ふるさと納税推進事業

1億2,010万8千円



ふるさと納税制度により、市に寄附していただいたかたに特産品を贈呈します。寄附件数の増加を図るため、県内外へのPRの促進、強化に取り組みます。

